

令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

主たる事務所の所在地 都城市吉尾町 473 番地の 1
名称 一般社団法人霧島工業クラブ
代表者氏名 代表理事 東郷 彰

1 事業の経過及び成果

令和3年度は、主な活動方針を①「モンゴル高専生の日本におけるインターンシッププログラム」への協力並びに雇用促進の支援 ②地域連携テクノセンターの活用による地域活性化の推進 ③例会の充実 ④産学官の緊密なネットワークづくり ⑤組織の充実としましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、当初予定した事業の実行が一部制約されたものの、3密を避ける等の感染防止対策を講じながらウィズコロナで活動を推進してまいりました。

① については、政府による新型コロナウイルス対策「まん延防止等重点措置」により「インターンシッププログラム」については中止を余儀なくされましたが、3月に入り日本の外国人入国が緩和されたことから、令和元年6月に卒業後、マトヤ技研工業(株)、(株)メタル・テクノ、(株)京都スパーサーの3社に就職が内定し、モンゴルにて待機中であったモンゴル高専出身者4名が、4月に来日できるようになりました。なお、令和2年3月に来日し大淀開発(株)に在籍中のモンゴル高専出身者2名は、入社後今年で3年目に入り、都城の生活にも慣れ日本語もかなり上達しています。

また、令和4年6月に卒業予定の新モンゴル高専生2名、モンゴルコーセン技術カレッジ高専生1名、モンゴル工業技術大学学生1名の計4名の内定が決まり、この7月にも来日予定です。

② については、平成28年4月より中小企業庁宮崎県よろず支援拠点都城サテライトが都城高専地域連携テクノセンターへ入居され、相談業務を開始されていますが、当クラブの特別会員として在籍しておられるので、都城工業高等専門学校との共同研究も含め、様々な分野で連携して活動を行いました。また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、対面の相談からオンライン等での開催できるものについては、極力オンラインで開催されました。

③ については、新型コロナウイルスの警報レベルが引き下げられ、行動制限が一部緩和されたタイミングで、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分講じて、以下の例会及び特別講演を開催しました。

令和3年7月度例会では、都城高専の和田校長先生に「ポストコロナ時代の高専教育・人財育成に向けて」という演題にてご講演をお願いしました。

和田校長先生は、令和3年4月に都城高専へ赴任されましたが、赴任までは教員として大学で8年、岐阜高専で27年の計35年間、教育・研究・地域連携に努めてこられ、ご専門は河川工学（防災・減災・生態系保全）です。また、岐阜高専では、副校長（研究主事）として、200社余りの地域連携協力会の設立、全国デザコンや全国高専フォーラムの実施など、副校長（教務主事）として、機関別認証評価の受審、コロナ禍におけるオンライン教育などに従事されました。

令和3年10月度例会の特別講演は、都城市都市計画審議会委員でもあります都城高専建築学科准教授の杉本弘文先生に『人口減少社会における協働のまちづくり・まち育て』という演題にて、ご講演いただきました。杉本先生は、庄内地区まちづくり協議会などの地域内の各種団体との連携・支援事業の実施時期を定めた「まちづくり計画」（将来計画）を策定する審議会の委員等を歴任され、さまざまな事業に積極的に取り組み活動されています。今回の講演が、くらし、子育て、産業などのいろいろな分野のまちづくりに関わる関係団体や行政にとって大変有益な講演となることが期待されます。

令和3年12月度例会の特別講演は、都城高専機械工学科准教授の高木夏樹先生に『農工連携および社会実装をキーワードとした教育研究の実践』という演題にて、ご講演いただきました。新富町は宮崎を代表する野菜の産地として農業が盛んな地域ですが、近年、生産者の減少、高齢化が進む中で、AIやロボットなどを活用した省力化、生産量の向上や高品質化を目指す「スマート農業」に取り組んでおり、都城高専の学生が社会実装という観点から連携を行っています。その実践として、野菜の小型選果機開発や自律移動ロボットに関する研究などについて紹介いただきました。また、農工学の素養を持つ学生の育成に向けた取り組みについてもご紹介いただきました。

令和4年3月1日及び2日に開催を予定していました都城高専第1回地域交流・研究発表会は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う「まん延防止等重点措置」の適用が3月6日まで延長されたことにより、全日程の開催の中止を余儀なくされましたが、高専学内のオンライン視聴により、大賞及び優秀賞を5名決定しました。

今回の審査は、学術的・学問的な視点というより社会実装の観点を重視し、志向した実用的・工学技術的な研究を評価しました。学術的には今回の受賞者より優れた発表がありましたが、人や社会が抱える切実な課題解決を社会実装の視点で取り組み、社会の様々な課題に対するプロトタイプを試作し、それを実際のユーザーに使用して評価していただき、その結果を改良に反映させるという一連の過程を実践した研究や近い将来への実用化や指導教員以外のユーザー等とコンタクトして培った課題解決能力等も考慮しました。各賞のテーマの内容や受賞理由については、ホームページ「霧島工業クラブ主催・共催行事」をご参照ください。

なお、次回例会にて、大賞受賞者2名による特別講演と表彰式を開催の予定です。大賞受賞者が欠席の場合は、優秀賞受賞者が講演します。また、特別講演会後の交流会に受賞者と指導教員の先生方も出席の予定です。

上記例会の他に、令和3年6月29日にリモート（zoom）によるオンラインセミナー形式で開催された一般社団法人トラストコーチングの林友香先生の「今日から使える！組織やチームを強くするコーチングスキル TOP3」という講演をご案内させていただきました。本セミナーはトラストコーチングにてこれまで数回開催されており、「社員が主体的に動くチームを目指したい」「社員が“成長”や“やりがい”を感じる組織にしたい」「人材の定着率を高めたい」とお考えの企業様にご参加いただき大変好評でした。

また、令和3年9月16日に開催の九州経済産業局主催による高度外国人材獲得活用セミナーをご案内させていただきました。コロナショックからの復興が求められる一方、人口減少・高齢化の進展に伴う人手不足も深刻化しています。そうした中、地域企業にとって、イノベーションの創出や海外取引、新規事業展開といった経営課題の解決に向け、高度な技能や専門知識を持つ「高度外国人材」の活躍が期待されています。現在、都城高専は全国の国立高専51校の幹事校として3モンゴル高専の教育やキャリア支援を実施していますが、当クラブの会員企業においてもモンゴル高専既卒者をエンジニアとして採用して頂いております。本WEBセミナーでは、初めて「高度外国人材」の採用を検討されたり、これから「高度外国人材」を本格的に採用したい企業の方々へ、採用・定着のポイントや、在留資格の基礎知識等について提供されました。

なお、令和3年10月15日には、JICA等の専門家による『モンゴルの人材があなたの地域と会社を変える！～モンゴル高度人材活用セミナー』という演題にて、令和3年10月26日には、企業向け『外国人受入れセミナー』がオンラインにて開催されました。

また、8月に、宮崎日機装の敷地に完成した産業用特殊ポンプの工場と医療機器の研究・研修施設を見学させていただく予定でしたが、第5波の新型コロナウイルス感染の急拡大により中止を余儀なくされました。完成したのは液化天然ガス（LNG）輸送用のポンプである「クライオジェニックポンプ」などを生産する「インダストリアル工場」及び主に、人工透析装置の保守管理者向けの研修のほか、マイクロ波外科手術デバイス製品を使った手術機器「アクロサージ」の手術見学室等の試験設備医療機器の研究・研修施設「M.ReT（エムレット）宮崎」です。

④ については、都城高専地域連携センターやキャリア支援室と連携し活動を行いました。

・都城高専在校生向け就職支援講演会への会員企業からの講師派遣

10/6 株式会社松尾宮崎 プレス金型1課 前田 一樹 氏

11/17 株式会社フェニックスシステム研究所 管理本部 永野 修治 氏

12/22 株式会社シンコー 品質保証部 技術課 阿部 正季 氏

1/19 株式会社下森建装 建築部（施工管理）宇崎 紘心 氏

・国立高等専門学校機構主催 KOSSEN EXPO～高専とつながる！高専で見つかる！

日時：令和3年10月20日（水）14:00～16:00

配信ツール：Microsoft Teams ライブイベント

『研究・教育の成果の社会実装を目指す高専』と『高専の技術・アイデアを活用した課題解決を目指す企業・団体等』との、連携（マッチング）を目的としたイベントですが、株式会社システム技研をはじめ会員企業にご参加いただきました。

・令和3年度都城高専合同企業説明会共催

日時：令和3年11月10日（水）14:40～16:10（特別活動時間90分間）

場所：都城高専 第一体育館（令和3年11月10日（水））

例年、翌年インターンシップを迎える本科生3年生全員（160名）並びに翌年春より就活を開始する本科4年生及び専攻科生の参加希望者を対象に、（一社）霧島工業クラブと共催にて合同企業説明会を開催していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により3密を避けることが求められ、第一体育館に各企業のブースを設けて学生が各企業のブースを訪問する形式が取れませんでした。令和3年度はコロナが落ち着いていた時期であった為、例年通り第一体育館にて対面式により開催することができました。

学生が働くことやキャリアを考え、業界・企業の理解を深める為、人事担当者や先輩と面談をする機会として、本説明会を開催し、企業研究のメリット等の理解を図るとともに、学生が、今後より一層多角的な視点からキャリアデザインを行うための情報提供を行う目的で開催されたものですが、高専出身者の受け入れ実績のある企業、または採用やインターンシップ受け入れ計画のある企業、合計36社が参加しました。

企業紹介パンフレットを作成し事前に学生に配布後、学生は特別活動の時間にローテーション表に従い、指定された各ブース番号の企業から説明を受けました。参加した学生は興味津々で真摯に企業の方々の説明を聞いていた様子がうかがえ、また、本校OBも学生からの質問に対し丁寧に応えていたのが印象的でした。

・インターンシップへの協力

都城高専からの要請を受け、マトヤ技研工業（株）や坂田電機株式会社等、多くの会員企業が都城高専の本科生と専攻科生の学生を受け入れインターンシップを実施しました。

・高専ロボコン九州沖縄地区大会出場マシンのお披露目会開催

高専ロボコン九州沖縄地区大会出場マシンのお披露目会が、霧島工業クラブの会員企業を招待して開催され、会員企業より多くの見学者がありました。

日時：令和3年11月11日（水）17:30～18:30

場所：都城高専 第一体育館

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催できませんでしたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染が減少傾向にあることから、2年ぶりの開催となりました。

多くの会員企業の皆様に参加いただき、実物をご覧になりながら手に触れることのできる対面式での開催となりました。各企業のエンジニアの方や高専OBが学生の説明に熱心に聞き入っておられるのがとても印象的でした。また、ロボコン制作局の学生たちは、今年も、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらのロボット制作は大変だったろうと思います。地区大会以来、このお披露目会に向けてロボット調整を一生懸命頑張ってくれたと聞いていましたが、その成果をこのお披露目会で、十分に発揮できたのではないかと思います。来年は、この新型コロナウイルス感染が収束すれば、また東京両国の国技館にて全国大会が開催されると思いますので、是非、全国大会へ出場できるよう頑張りたいと思います。また、九州コガネイ様からは、機械部品類等のご寄付を頂戴しました。

・第9回おもしろ科学フェスティバル後援

当クラブが後援する「第9回都城高専おもしろ科学フェスティバル」が11月14日(日)に三股町西部地区体育館にて開催されました。今年度は9月19日(日)に実施を予定していたものですが、新型コロナウイルスの感染拡大により開催の延期を余儀なくされ、午前・午後の2部制での事前申し込み制(各100名)・健康チェックシートの配布回収など、新型コロナウイルス対策を充分に行ったうえで開催し、来場者は、計338名(子ども:193名、保護者:145名)でした。尚、事前申し込みは申し込み開始から約2日間で定員に達する盛況ぶりでした。都城高専から出展(10テーマ・14名)、会員企業からもマトヤ技研工業(株)にご出展いただき、計12の実験ブースを出展し、各ブースは大盛況でした。子どもたちも久しぶりの科学イベントを笑顔でとても楽しんでいました。今後も地域の小中学生への科学振興を推進するため、都城高専の小中学校理科教育支援に関する活動に御理解と御協力のほどよろしく御願い申し上げます。

・新規卒業生やUターン希望者の就職受け入れ(特に、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けUターン希望者増加)

・令和3年度都城市企業立地推進ネットワーク会議

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により本会議はやむなく中止になりましたが、令和3年度は11月19日(金)に都城市役所南別館4階第1会議室にて開催されました。内容は、以下の通りです。

ア. 企業立地の現状、取組み等について

イ. 都城インター工業団地桜木地区の分譲について

ウ. 市の優遇制度について

エ. 地域未来投資促進法について

⑤ については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を最小限にし、現状の会員企業51社を維持することを目標としましたが、お陰様で、2社減、6社増の合計55社となり、令和2年度より4社増となりました。

2 事業内容

(1) 産学官連携による各種プロジェクトの推進に関する事業（定款第4条1）

・10月度例会にて、都城市都市計画審議会委員でもあり、庄内地区まちづくり協議会の「まちづくり計画」のさまざまな事業に積極的に取り組み活動されている都城高専建築学科准教授の杉本弘文先生に『人口減少社会における協働のまちづくり・まち育て』という演題にてご講演いただきました。今回の講演が、くらし、子育て、産業などのいろいろな分野のまちづくりに関わる関係団体や行政にとって大変有益な講演となることが期待されます。

・12月度例会にて、都城工業高等専門学校の研究者のシーズの紹介を実施し、企業のニーズとのマッチングを図りました。AIやロボットなどを活用し、省力化、生産量の向上や高品質化を目指す「スマート農業」の取り組みを紹介し、また都城高専の学生が社会実装という観点から連携を行っており、その実践として、野菜の小型選果機開発や自律移動ロボットに関する研究などについても紹介していただきました。

・令和4年3月1日及び2日に開催を予定していましたが都城高専第1回地域交流・研究発表会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催の中止を余儀なくされましたが、高専学内のオンライン視聴により、大賞及び優秀賞を5名決定しましたので、令和4年度の例会にて、受賞者による特別講演会と交流会を開催予定です。

(2) 工業振興施策の推進及び提言・要望に関する事業（定款第4条2）

例年、8月に開催しています「都城圏域産学官金交流会」は、新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴い対面での面談が厳しい状況となる中、宮崎県独自の緊急事態宣言に伴う行動要請等が発令された為、都城市の指導に従い急遽中止としました。

(3) 各種講演会及び研修会に関する事業（定款第4条3）

例会時特別講演

① 実施期日：令和3年7月16日

演題：「ポストコロナ時代の高専教育・人財育成に向けて」

講師：都城工業高等専門学校 校長 和田 清氏

② 実施期日：令和3年10月21日

演題：「人口減少社会における協働のまちづくり・まち育て」

講師：都城工業高等専門学校 建築学科 准教授 杉本 弘文氏

③ 実施期日：令和3年12月10日

演題：「農工連携および社会実装をキーワードとした教育研究の実践」

講師：都城工業高等専門学校 機械工学科 准教授 高木 夏樹氏

(4) 会員企業見学会及び先進企業視察に関する事業（定款第4条4）

- ① 高専ロボコン九州沖縄地区大会出場マシンのお披露目会開催
期日：令和3年11月11日（水）（於：都城高専 第一体育館）
内容：高専ロボコン九州大会出場実機の見学会
対面式及びオンライン（ZOOM）にて会員企業へ動画配信
「ロボット及びメカトロに関する研究の奨学資金」目録贈呈
- ② 企業視察研修会
期日：令和3年8月開催予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大の防止の観点から中止となりました
視察先：宮崎日機装（株）「インダストリアル工場」及び「M.ReT（エムレット）宮崎」

(5) 関係機関・団体との連携協調に関する事業（定款第4条5）

- ① 宮崎県産学官交流会
本県工業の振興、さらには地域社会の発展のため、県内企業や関係団体が、業種、業態等の相違にかかわらず交流を深めることを目的に例年開催されますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の防止の観点から役員のみによる定時総会だけとなり、通常の交流会は中止となりました。
- ② （一社）宮崎県工業会 県西地区部会 通常総会及び懇親交流会
例年、（一社）宮崎県工業会の都城市を中心とする県西地区部会の会員企業による総会と交流会が開催されますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の防止の観点から役員のみによる定時総会だけとなり、通常の交流会は中止となりました。
- ③ 第28回技術・研究発表交流会
産学官金等各機関による連携事業の推進を目指すことを目的とし、毎年「技術・研究発表交流会」にて、地域交流講演会（宮崎県産学官連携コーディネート講演会、イノベーション共創プラットフォームセミナー）、宮崎県産業振興機構共同研究事業成果報告、ポスター展示、発表（ディスカッション）を開催されますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の防止の観点から中止となりました。
- ④ 都城市企業立地推進ネットワーク会議
都城市の産業経済の活性化及び市民の雇用機会の拡大に向け、官民一体となった企業立地推進の取り組みとして、市の企業立地に関するPR力及び企業立地に役立つ情報収集力の強化を図ることを目的とする。企業立地の現状、取組、優遇制度の改正等、意見交換
参加者：行政、商工、農林業、学術研究、金融、インフラ等に携わる方

令和3年度は11月19日(金)に都城市役所南別館4階第1会議室にて開催されました。内容は、以下の通りです。

- ア. 企業立地の現状、取組み等について
- イ. 都城インター工業団地桜木地区の分譲について
- ウ. 市の優遇制度について
- エ. 地域未来投資促進法について

⑤ 都城市産業活性化講演会

都城市と都城市認定農業者等協議会が主催し、当クラブを含む9団体が後援して、都城市の農業者と商工業者が一堂に会し、取り巻く社会情勢の課題と将来への展望を明らかにして、地域のリーダー・経営者として地域とともに発展することを目指して開催

参加者：行政、商工、農林業、金融等に携わる方

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

⑥ 都城高専4年生校内研修

都城工業高等専門学校では、夏にインターンシップを控え翌年に就職活動がはじまる4年生に対し校内研修を開催していますが、その目的は、学業及び生活面における自主性と責任感を自覚させ、また、卒業後の就職や進学に向け現在の学生生活の在り方を考えさせることです。この研修の全体特別講演会で、当クラブ会員企業の(株)川原田工務店代表取締役の谷口伸一郎氏が講演されました。尚、令和3年度はコロナ禍での開催となったため、オンライン講演の形式で開催されました。

対象：4年生全体(約160名)

日時：令和3年4月23日(金)配信

場所：録画した講演会の映像をリモートで視聴

講師：(株)川原田工務店代表取締役 谷口伸一郎氏

演題：「地元で働くこと、その魅力」

進学・大手ゼネコン・Uターン・地元建設会社勤務を体験して思う事

⑥ 都城工業高等専門学校・就職支援講演会

都城工業高等専門学校ではキャリア教育の一環として、本科低学年生(1～3年生)を対象とし、高専OB・OGをはじめとする企業人を講師に招き、毎年就職支援講演会を開催しています。特に、3年生は4年生の夏休みには全員インターンシップに参加することになり、翌年の春には実質的な就職活動が始まる為、なるべく早い時期から、企業研究をスタートすることが重要となってきており、当クラブ会員企業がオンライン形式で講演しました。

実施期日：令和3年10月6日

演題：「我社の魅力と期待する人材像」

講師：株式会社松尾宮崎 プレス金型1課 前田 一樹 氏

実施期日：令和3年11月17日

演題：「我社の特徴と魅力について」

講師：株式会社フェニックスシステム研究所 管理本部 永野 修治 氏

実施期日：令和3年12月22日

演題：「我社の魅力と働くということ」

講師：株式会社シンコー 品質保証部 技術課 阿部 正季 氏

実施期日：令和4年1月19日

演題：「我社の魅力と働き甲斐について」

講師：株式会社下森建装 建築部（施工管理）宇崎 紘心 氏

⑧ 都城工業高等専門学校・合同企業説明会

毎年、都城工業高等専門学校と当クラブが共催し、翌年インターンシップを迎える本科生3年生全員（160名）並びに4年生及び専攻科生の参加希望者を対象に、キャリア教育の一環として、都城工業高等専門学校の都城高専第一体育館にて合同企業説明会を開催していますが、令和3年度は、会員企業36社が参加しました。

⑨ 都城工業高等専門学校・第9回おもしろ科学フェスティバル後援

都城工業高等専門学校が、小中学生を中心とした未来ある子どもたちに、科学のおもしろさを伝え、将来の日本の産業界を支えるための人材育成に寄与する目的で開催した「第9回おもしろ科学フェスティバル」を後援しました。

開催日時：令和3年11月14日（日）

場所：三股町西部地区体育館

来場者数：計338名（子ども:193名、保護者:145名）

⑩ 令和3年度都城高専評議員会

都城工業高等専門学校の教育研究活動、地域貢献活動等運営に関する重要事項について審議し、学校長に対し助言を行うことを目的として設置されている評議員会に、毎年、評議員として当クラブ代表理事が参加していますが、「令和4年度 都城高専 第2回地域交流・研究発表会」開催を要望しました。都城工業高等専門学校では、評議員からの意見等を踏まえ、今後の教育研究や学校運営等に活かしています。

開催日時：令和4年2月28日～3月18日

場所：書面会議

⑪ 都城工業高等専門学校・モンゴル3高専に対するキャリア支援への協力

都城高専は、高専機構が推進するモンゴル3高専への教育及びキャリア支援について、全国51校の国立高専の幹事校となっていますが、高専機構よりの要請を受け、「モンゴル3高専（IETモンゴル高専、新モンゴル高専、科技

大高専) に対するオンラインキャリア講演会」に会員企業2社が参加しました。

開催日時：令和3年12月10日(金) 13:45-17:45(日本時間)

配信ツール：オンライン開催

参加企業：大淀開発株式会社、マトヤ技研工業株式会社

特に、大淀開発株式会社からは、既に在職中のモンゴル高専出身者の以下2名に参加していただき、モンゴル3高専の学生同士の意見交換を実施しました。

SUGJIN BAT ERDNE さん(科技大高専出身)

NERGUI AMARBAYASGALA さん(モンゴルコーセン出身)

(6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条6)

実施事業なし